

3.4 カシオ計算機株式会社 八王子技術センター

3.4.1 対象拠点の概要

本対象拠点は周囲が住宅地や工場になっているが、周辺地域にはグリーンベルトや小規模な緑地が点在するほか、東側を南北に走る八高線沿いには草地環境が連続する。まとまった緑地としては直線距離で 1km 程に加住丘陵先端部の緑地や、多摩川の河川敷がある。拠点内の主な緑地部は植樹帯や植え込みであったほか、一部に屋上緑化としての芝地がみられた。



図 3-4 対象拠点の状況

3.4.2 確認された種

(1) 植物

現地調査の結果、表 3-6 に示す 59 科 100 属 110 種の植物が確認された。確認種は、トクサ、カイヅカイブキ、シラカシ、ケヤキ、ソメイヨシノ、イロハモミジ、サツキ、ハクチョウゲ、ヤブランなど植栽された種のほか、市街地など人里近くに普通に生育する種がみられ、低茎草地ではオランダミミナグサ、ミチタネツケバナ、カタバミ、ユウゲショウ、ノゲシ、ネジバナ、植え込み周辺ではミドリヒメワラビ、クサマオ、ヒナタイノコズチ、オヤブジラミ、ヘクソカズラ、ツユクサなどが確認された。

(2) 昆虫類

現地調査の結果、シマサシガメ、ウスキホシテントウ、アシナガアリなど 8 目 34 科 51 種の昆虫類が確認された。確認種目録を表 3-7 に示す。確認された種の多くは平野部の市街地周辺など、緑地の少ない地域でも普遍的にみられる種であったが、水生昆虫類であるヒゲナガカワトビケラなども確認された。

(3) その他の生物

その他の生物として、鳥類のオナガ、ムクドリ、ハシボソガラス、シジュウカラ（巣立ち雛）、ホオジロ（死骸）、哺乳類のホンダヌキ（糞）が確認された。

表 3-6(1) 確認種一覧 (植物, 1/2)

No.	科名	種名	学名
1	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>
2	ハナヤスリ	コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>
3	イノモトソウ	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i>
4	ヒメシダ	ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i>
5	メシダ	イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>
6	マツ	ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i>
7	ヒノキ	カイツカイブキ	<i>Juniperus chinensis</i> cv.Kaizuka
8	ブナ	スダジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i> var.sieboldii
9		シラカシ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>
10	ニレ	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i>
11		エノキ	<i>Celtis sinensis</i> var.japonica
12		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>
13	クワ	ヤマグワ	<i>Morus australis</i>
14	イラクサ	クサマオ	<i>Boehmeria nivea</i> ssp.nipononivea
15	タデ	スイバ	<i>Rumex acetosa</i>
16	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>
17	ナデシコ	ノミノツヅリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i>
18		オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>
19		ミミナグサ	<i>Cerastium holosteoides</i> var.angustifolium
20		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>
21		コハコベ	<i>Stellaria media</i>
22	アカザ	ゴウシュウアリタソウ	<i>Chenopodium pumilio</i>
23	ヒユ	ヒナタイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var.tomentosa
24	カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>
25	キンボウゲ	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>
26	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>
27	ケシ	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>
28	アブラナ	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>
29		イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>
30	バラ	ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i>
31		ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i>
32		カナメモチ	<i>Photinia glabra</i>
33		ソメイヨシノ	<i>Prunus x yedoensis</i>
34		シャリンバイ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i>
35		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>
36	マメ	ヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia</i>
37	カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>
38		ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>
39		オッタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>
40	フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>
41	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>
42		コニシキソウ	<i>Euphorbia supina</i>
43	カエデ	イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>
44		ヤマモミジ	<i>Acer palmatum</i> var.matumurae
45	モチノキ	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i>
46	ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var.heterophylla
47		ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>
48		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>
49	スミレ	ヒメスミレ	<i>Viola minor</i>
50	アカバナ	ユウゲシヨウ	<i>Oenothera rosea</i>
51	ミズキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>
52		アメリカヤマボウシ	<i>Cornus florida</i>
53	ウコギ	ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i>
54	セリ	オヤブジラミ	<i>Toriiis scabra</i>
55	ツツジ	アメリカイワナンテン	<i>Leucothoe fontanesiana</i>
56		サツキ	<i>Rhododendron indicum</i>
		ヒラドツツジ	<i>Rhododendron</i> sp.
57	ヤブコウジ	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>
58	サクラソウ	コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> f.subsessilis

表 3-6(2) 確認種一覧 (植物, 2/2)

No.	科名	種名	学名
59	エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>
60	モクセイ	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>
61	キョウチクトウ	キョウチクトウ	<i>Nerium indicum</i>
62	アカネ	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>
63		ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>
64		ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>
65		ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i>
66	ムラサキ	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>
67	クマツツラ	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>
68	シソ	アカジソ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>acuta</i>
69	ナス	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>
70	ゴマノハグサ	マツバウンラン	<i>Linaria canadensis</i>
71		トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>
72		タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>
73	スイカズラ	ハナソノツクバネウツギ	<i>Abelia x grandiflora</i>
74		ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i>
75	キキョウ	ヒナキキョウソウ	<i>Specularia biflora</i>
76	キク	コセندانグサ	<i>Bidens pilosa</i>
77		アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>
78		オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>
79		ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>
80		ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>
81		チチコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>
82		ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>
83		キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i>
84		ブタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>
85		イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i>
86		アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i>
87		ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>
88		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>
89		ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>
90		ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>
91		セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>
92	オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>	
93	ユリ	ノビル	<i>Allium grayi</i>
94		ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>
95		ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>
96	ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>
97	アヤメ	シャガ	<i>Iris japonica</i>
98	イグサ	クサイ	<i>Juncus tenuis</i>
99	ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>
100	イネ	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>
101		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>
102		スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>
103		ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>
104		タマオオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>
105		コウシュンシバ	<i>Zoysia matrella</i>
106		ヤシ	シュロ
107	サトイモ	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>
108	カヤツリグサ	マスクサ	<i>Carex gibba</i>
109		ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>
110	ラン	ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>
合計	59科100属110種		

注) 種名、学名及び種の配列は、原則として「植物目録 1986」(環境庁編, 1987) に従った。

表 3-7 確認種一覧（昆虫類）

No.	目名	科名	種名	学名	
1	カゲロウ	コカゲロウ	コカゲロウ科の一種	Baetidae gen.sp.	
2	カマキリ	カマキリ	Tenodera sp.	Tenodera sp.	
3	バッタ	キリギリス	Conocephalus sp.	Conocephalus sp.	
4	カメムシ	ミミズク	コミミズク	Ledropsis discolor (Uhler)	
5		ヨコバイ	トバヨコバイ	Alobaldia tobae (Matsumura)	
			ヨコバイ科の一種	Deltocephalidae gen.sp.	
6		キジラミ	カエデキジラミ	Psylla japonica Kuwayama	
7		アブラムシ	アブラムシ科の一種	Aphididae gen.sp.	
8		ゲンバウムシ	ツツジゲンバイ	Stephanitis pyrioides (Scott)	
9			トサカゲンバイ	Stephanitis takeyai Drake et Maa	
10		サシガメ	シマサシガメ	Sphedanolestes impressicollis (Stal)	
11		ナガカメムシ	セスジナガカメムシ	Arocatus melanostoma Scott	
			ナガカメムシ科の一種	Lygaeidae gen.sp.	
12		ツチカメムシ	ツチカメムシ	Macroscytus japonensis (Scott)	
13		カメムシ	チャバネアオカメムシ	Plautia crossota stali Scott	
14		コウチュウ	オサムシ	トゲアトキリゴミムシ	Aepheidius adelioides (MacLeay)
15	ハネカクシ		Mimogonus sp.	Mimogonus sp.	
16			Sepedophilus sp.	Sepedophilus sp.	
17	マルハナノミ		コキムネマルハナノミ	Helodes nakanei Klausnitzer	
18	コガネムシ		ヒラタアオコガネ	Anomala octiescostata (Burmeister)	
19	コメツクムシ		サビキコリ	Agrypnus binodulus binodulus (Motschulsky)	
20			ホソサビキコリ	Agrypnus fuliginosus (Candeze)	
21			クロツヤクシコメツク	Melanotus annosus Candeze	
22	テントウムシ		ハレヤヒメテントウ	Pseudoscymnus hareja (Weise)	
23			ナミテントウ	Harmonia axyridis (Pallas)	
24			ウスキホシテントウ	Oenopia hirayamai (Yuasa)	
25	ゴミムシダマシ		スナゴミムシダマシ	Gonocephalum japanum Motschulsky	
26	ハムシ		ムネアカキバネサルハムシ	Pagria consimile (Baly)	
27			ドウガネサルハムシ	Scelodonta lewisii Baly	
28	ヒゲナガゾウムシ		コモンヒメヒゲナガゾウムシ	Rhaphitropis guttifer guttifer (Sharp)	
29	ゾウムシ		ツチイロヒゲボソゾウムシ	Phyllobius incomptus Sharp	
30			ヒラズネヒゲボソゾウムシ	Phyllobius intrusus Kono	
31			Myllocerus sp.	Myllocerus sp.	
32			スグリゾウムシ	Pseudocneorhinus bifasciatus Roelofs	
33	ハチ		ハバチ	クロムネアオハバチ	Tenthredo nigropicta (Smith)
34			コマユバチ	Apanteles sp.	Apanteles sp.
35			アシプトコバチ	チビツヤアシプトコバチ	Antrocephalus japonicus (Masi)
36		コツチバチ	Tiphia sp.	Tiphia sp.	
37		アリ	アシナガアリ	Aphaenogaster famelica famelica (F. Smith)	
38			キイロシリアゲアリ	Crematogaster osakensis Forel	
39			トビイロシワアリ	Tetramorium caespitum (Linnaeus)	
40			クロオオアリ	Camponotus japonicus Mayr	
41			クロヤマアリ	Formica japonica Motschulsky	
42			トビイロケアリ	Lasius niger (Linnaeus)	
43		ドロバチ	チビドロバチ	Stenodynerus frauenfeldi (Saussure)	
44	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	Stenopsyche marmorata Navas		
45	チョウ	スガ	コナガ	Plutella xylostella (Linnaeus)	
46		キバガ	カバイロキバガ	Carbatina picrocarpa Meyrick	
47		メイガ	Ostrinia sp.	Ostrinia sp.	
48		シャクガ	マエキヒメシャク	Scopula nigropunctata imbella (Warren)	
49		ヤガ	イラクサギンウワバ	Trichoplusia ni (Hubner)	
50			タイワンキシタアツバ	Hypena trigonalis (Guenee)	
51	オオアカマエアツバ		Simplicia niphona (Butler)		
合計	8目	34科	51種		

注) 種名、学名及び種の配列は、原則として九州大学農学部昆虫学研究室・日本野生生物研究センター編（1989,1990）に従った。

3.4.3 特に保護の必要のある種

特に保護の必要のある種として、植物のコヒロハハナヤスリが挙げられる。図 3-5 に確認位置を示すとともに、以下に概要を示す。

なお、現地で確認されたハクチョウゲは環境省レッドリスト 2017 で絶滅危惧ⅠB 類に該当するが、明らかな植栽個体であったため、ここでは“特に保護の必要のある種”として扱わない。

種名	コヒロハハナヤスリ (ハナヤスリ科, <i>Ophioglossum petiolatum</i>)	
写真	 確認個体	 代表的な生育環境
コメント	芝地等のやや明るい低茎草地、2 地点で合計 40 個体程度の生育が確認された。 レッドデータブック東京 2013：絶滅危惧Ⅱ類（南多摩）に該当する。	

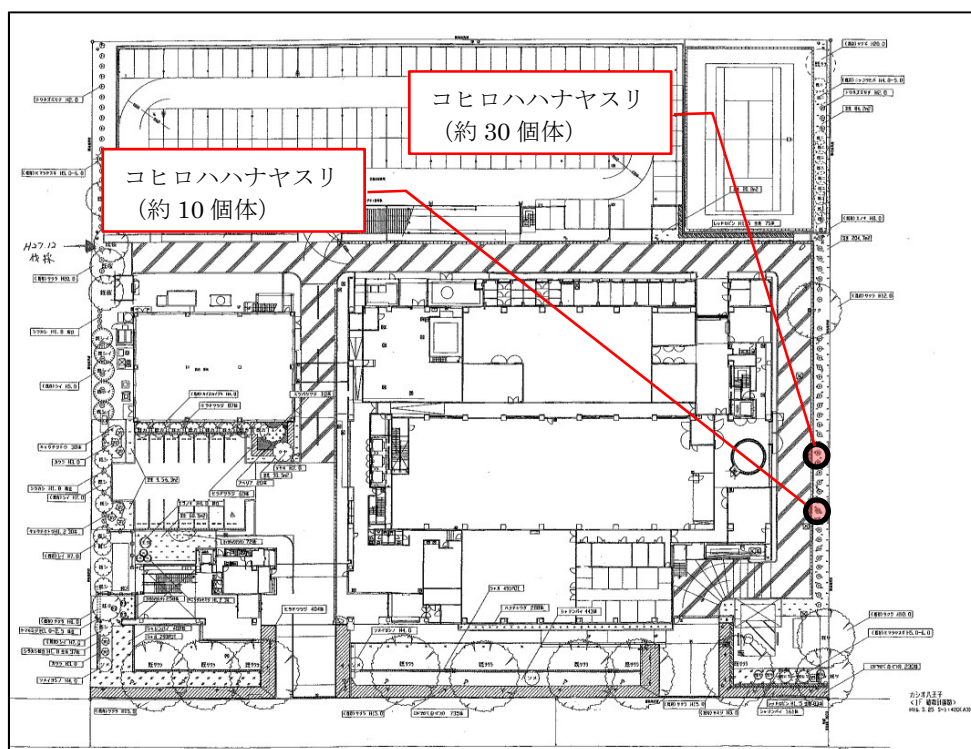


図 3-5 特に保護の必要のある種の確認地点

3.4.4 非調査期間に出現する可能性の高い種

本対象拠点においては、昆虫類では関東の平野部において普遍的にみられるマダラスズ、アブラゼミ、モンクロシャチホコなど 18 種が非調査期間に出現する可能性の高い種として推定された。

なお、植物ではアキノエノコログサ、カヤツリグサといった秋に開花・結実する種が確認される可能性があるが、植物相としては季節的な変化に乏しいことが予想されるため、非調査期間に出現する可能性の高い種の推定は行わなかった。

3.4.5 事業活動による影響の可能性

本対象拠点については事業活動における“負の影響”は認められなかった。

本対象拠点においてはツツジグンバイやトサカグンバイ(以上植物体からの吸汁)などの採餌環境としての利用や、クロオオアリ(営巣)といった主たる生息環境としての利用が確認されたが、訪花可能な花がみられなかったことや樹種が限られ緑被率が低いことから草地や樹林といった特定の環境に特徴的な利用はほとんどみられなかった。出現を推定した種(昆虫類)も踏まえると、本対象拠点が生態系拠点としてネットワークの一部になり得ると考えられるが、現状では機能性にやや乏しいと推察される。